

UK

UK REPORT

@New Products

トロフィーショット/ヨシダ
＜ポータブル歯科用X線装置＞

ヨシダから6月21日に発売になる“トロフィーショット”は、人間工学に基づいて設計されているため、バランスよく装置が保持することが可能で、またシンプルな操作性とディスプレイ表示により撮影設定も簡単。本体重量 1.95kg と軽量で保持や持ち運びにも優れたポータブル X 線装置です。

【特徴】

- 70kV/3.5mA の高い出力により撮影時間を短縮し、体動による画像への影響を軽減。より鮮鋭性の高い画像を取得可能です。さらに焦点寸法は0.4mm とより画像のボケを少ないものとします。
- 蓄電デバイスにはスーパーキャパシタ（電気二重層コンデンサ）を採用。劣化が少なく長寿命といわれ、急速充電が可能なので0%からフルチャージまで3分で完了します。患者の位置づけなどを実施している間に充電しておくことで、高い出力を保つことが可能です。
- W143×D271×H268mm のコンパクト設計。

標準価格＝本体一式 598,000 円

エアリア/iCAT
＜空気循環式紫外線清浄機＞

iCAT から発売された“エアリア”は、空気中の小さな塵や埃などに付着し浮遊する菌やウイルスをファンで取り込み、高出力の紫外線を当てて除菌し徐々に室内を浄化していく空気循環式紫外線清浄機です。薬品やオゾンなどが空气中に滞留することもなく、また紫外線が外部に漏れない構造のため、安心・安全に空気を除菌できます。

【特徴】

- 高出力紫外線ランプにより細菌・ウイルスを不活性化。広島大学とメーカーとの評価試験により、新型コロナウイルスにも99.9%以上の不活化が確認されています。
- 紫外線の照射は装置内部で行われ、目や皮膚に直接あたることはありません。大手照明機器メーカーによる国内生産で品質的にも安心・安全です。
- 紫外線ランプの定格寿命は約8,000時間と長寿命。フィルター除菌方式と異なりメンテナンスが容易です。
- 処理容量の違いにより 3 機種をラインナップ。

標準価格＝全機種ともオープン価格

ボンディングテープ ラボ
/デントレード
＜高強度硬質レジンブリッジ用材料＞

デントレードより発売の“ボンディングテープラボ”は、先行販売のボンディングテープ（歯牙固定用材料）の進化型で従来品より非常に高い曲げ強度を実現。高強度硬質レジンブリッジや歯冠用硬質レジン単冠の作製と、多様な症例にお使い頂けます。また、平成30年4月の診療報酬改定で新設された高強度硬質レジンブリッジに対応した保険適用製品です。

【特徴】

- 円形のグラスファイバー（コロナル）は、12層の多層構造で、咬合面のクリアランス及び要求される強度により2層～全層を任意に選べます。
- 付属のシリコンキーを用いることで圧接しながら光照射ができ、簡単にコーピングの作成ができます。
- 支台歯毎に作製したコーピングを、適切な長さで切断した連結用グラスファイバー（ロッド）とレジンCで接合することで、3点曲げ強度試験にて700MPa以上と、非常に高い曲げ強度を実現した高強度硬質レジンブリッジを作成することができます。（保険適用）
- 本体セットには、歯科医院保管用と歯科技工所保管用のトレーサビリティシールが6症例分付属しています。

標準価格＝セット 24,200 円

@My Recommendation

『 TinyPlus 』
＜日本歯科商社＞

標準価格＝TinyPlus本体一式 48,000 円
アダプター各種 5,000 円
JDS アルミナ (50μ) 500g 2,800 円

チェアサイドで簡単に使用できるサンドブラスター！

今回ご紹介させていただきます製品は、(株)日本歯科商社から発売されております『TinyPlus』です。現在ご使用のユニットのエアータービンホースに接続して、使い慣れたフットペダルで内面処理が容易に行えます。メタル、CAD/CAM 冠、硬質レジンの内面処理はもちろんのこと、矯正ブラケットの接着面前処理や、デンチャー等のリベア一面の前処理としても使用できます。その他にも、補綴物内面等の接着セメント除去にも活用できます。

ご使用いただいている先生方からは、「院内でも、使用しているユニットに簡単に取り付けができ、容易にサンドブラスト処理ができる事で、接着力を上げることができ重宝しております」との喜びの声を頂いております。

※エアータービンホースに関しましては、ジョイント部が4ホールタイプのカップリングの場合はアダプターは不要ですが、4ホールタイプ以外の場合は別途、アダプター（ヨシダ2種、モリタ1種、オサダ1種）が必要となります。詳しくは弊社営業担当者までお気軽にお尋ね下さい。

久留米店 営業一課 友田 智之

歯科医院経営を考える(524)

デンタル・マネジメント・コンサルティング
稲岡 勲

～ 公的機関の果たすべき役割とは ～

5月16日付日経新聞は、現在の新型コロナ感染者数は、東京が15万2,239人、大阪は9万4,775人と報じている。ところが前日からの増加数では、東京が542人に対して大阪は620人となっており、人口比では東京が、大阪の約1.5倍だから人口比から計算した大阪の感染者増加数がきわめて大きいと分かる。こうして発表されている感染者数だけではわからないが、実はその裏にコロナのPCRの検査数がかくれている。新型コロナの影響でオリンピックの延期が決定されるまでの期間、日本では新型コロナの感染の有無を調べるPCR検査の拡大に対して慎重論が主流となり、諸外国に比べて極端に少なかった。その後の検査数でも、例えば4月2日(金)のPCR検査数が東京で7,934件に対して大阪は11,358件で東京に比べて極端に多い。一方東京ではオリンピック開催を控えてPCR検査数を意識的に減らしている可能性がある。一方コロナによる死者数では5月16日の東京が1,951人、大阪が1,958人と大阪の方が多い。しかも97.7%が60歳以上の高齢者だという特徴がある。患者の急増を前に大阪の吉村知事は自衛隊や近隣の府県に対し応援の要請をしている。そもそも大阪府は病床数や医師や看護婦を含む病院の公務職員を減らし続けてきた。2007年に在籍していた8,785人の病院職員を、2019年には4,360人と半減(▲50.4%)させている。同時に府下の衛生部門の職員を、上記の年間に12,232人から9,278人へと▲24.1%減らしてきている。こうした政策の付けが回ってきているということだ。また大阪府は総病床数を、2007年の110,840床から2018年の106,920床へと3,920床減らしてきている。こうした医療分野の施設、人員を、効率の名のもとに徹底して減らしてきた付けが出てきているのだと思う。行政として本来守るべき府民の命を、効率を理由にして軽視してきた結果がこのような状況を招いている。大阪に限らず国も小さい政府を謳い、国鉄の民営化によって、北海道や四国ではどれだけ交通の利便性が損なわれたか。国営の鉄道で地方の人にも最低の利便性を確保するという基本理念や政策を忘れていないのか。

(つづく)

※玉手ニュース 2021年 6月号より転載。

New Books & Video

★今週の新刊 『海外文献120編から読み解くペリオの世界』 ～リスクと予後・全身・インプラント篇～



本書は、「科学的根拠に基づいた考え方」を武器に、ペリオを中心としたあらゆる身近な疑問にかかわる最近10年の海外論文120編を紐解いた第二弾。リスクと予後、口腔と全身、高齢者のマネジメント、障害者/小児/若年者の予防歯科、インプラント周囲病変、インプラントのメンテナンス、インプラントの予後とリスクを収載した一冊。

- 著者＝関野 愉
- 出版＝デンタルダイヤモンド社
- 価格＝4,000円＋税

日本歯科評論 別冊2021 『モノリシックで活かす！ ジルコニア・レストレーションの現在』



ジルコニアは、モノリシック(単体)でクラウンやブリッジにも使用できるようになりました。本書では、モノリシックジルコニアに焦点をあてて、多様な用途に対するジルコニアの選択と臨床応用のポイントをまとめ、多くの症例を紹介。また、高い強度に加え、“透光性”を改良したことで審美補綴装置の主役となったジルコニアについて、その変遷や材料特性を徹底解説した一冊。

- 編著＝宮崎 隆/近藤 尚知
- 出版＝ヒョーロン・パブリッシャーズ
- 価格＝5,800円＋税